

第2学年1組 学級活動指導案

1. 日時・場所 平成27年6月17日(水) 13時30分～ 2年1組教室

2. 題材名 「力を合わせて教室をきれいにしよう」
(エ 清掃などの当番活動等の役割と働くことの意義の理解)

3. 題材について

2年1組 学級目標	「Eクラスになろう」
-----------	------------

男女仲がよく、明るく元気で、困っている子には優しく声をかけることができる。中休みにはみんなで長なわを楽しんだり、鬼遊びを楽しんだりしながら生活をしている。係や当番活動にも興味をもち、すすんで取り組む子がいる。配布物を教室に届けたり、教室移動の時に電気を消したりする活動や先生と一緒に、誕生日カードを作ってお祝いしたり、選んだ絵本を読み聞かせしたりする活動などを行っている。

「そうじはたのしいですか」という事前のアンケートをとると、ほぼ全員が「たのしい」と答えた。「教室がきれいになるとすっきりする」「みんなといっしょにするのが楽しい」と児童なりに掃除の大切さとその意義は感じている。本時は掃除の仕方を確認するだけではなく、より力を合わせて掃除ができるように、クラスの実態を全体で共有し、掃除をする時に、どうすれば力を合わせてできるか自分なりのめあてを自己決定して取り組めるように本題材を設定した。そのために、掃除のやり方や、楽しさを伝えようと1年生の掃除のお手伝いをしている6年生へ担任がインタビューをした映像を使ったり、机や掃除道具を使って、ロールプレイを取り入れて具体的な場面を想像させたりしながら話し合いをする。その中で出た考えを活かし、自己決定につなげられるようにする。掃除の中で「ぞうきんでふく時は」「ほうきではく時は」「机をはこぶ時は」など、いつ、何をどのように努力するか具体的に決められるように支援をする。

児童が自己決定に基づき実践的な集団活動をすることは、「自己指導能力」を育成するとともに、一生懸命働く経験は学校へ貢献することの価値に気づくことにつながる。学年が上がり、委員会や行事の充実につながり、望ましい勤労観・職業観を育て、公共の精神を養い、社会性の育成を図ることにもつながる。そして、授業後はいかに実践できたか、めあてカードを活かしながら、児童がクラスのために活動し、「自己有用感」を味わえるよう配慮していく。今後も学級活動を通じて児童が安心して過ごすことができ、積極的にクラスのために、みんなのために活動ができる学級づくりをすすめていきたい。

また、本題材は、今年度より施行された「かわさき教育プラン」の基本政策の1つである「キャ

リア在り方生き方教育」にもつながると考える。「力を合わせて教室をきれいに」という題材から協力して働くことの意義にも気づけるようにしたい。

4. 評価規準

活動や生活への 関心・意欲・態度	集団の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
自己の身の回りの問題に関心をもち、進んで日常の生活や学習に取り組もうとしている。	学級生活を楽しくするために日常の生活や学習の課題について話し合い、自分に合ったよりよい解決方法などについて考え、判断し、実践している。	学級生活を楽しくすることの大切さ、そのための基本的な生活や学習の仕方などについて理解している。

5. 活動の実際

(1) 事前の活動

活動の場	活動内容	評価(☆)と支援(○)	資料
6月上旬	掃除についてアンケートをとる。	○普段の掃除の様子をふりかえり、アンケートを書かせる。 ☆アンケートに答え、掃除について考えようとしている。 (活動や生活への関心・意欲・態度)	アンケート (資料1)

(2) 本時の活動

①ねらい 自分たちの掃除の様子をふり返り、自分のめあてを立て、実践しようとする。

②展 開

	児童の活動	評価 (☆) と支援 (○)	資料
導 入	1. アンケートの結果を見て、学習の見通しをもつ。	○アンケートの結果をテレビに映し、掃除についてクラスみんなで考えていくことを伝える。	・アンケートの結果
展 開	2. 6年生へのインタビュー映像を見る。 3. 掃除の時に力を合わせて行うためにどうすればよいか話し合う。	○掃除の大切さ、協力して取り組むことのよさがわかるように、掃除のお手伝いをしている6年生のインタビュー映像を見せる。 ○「協力すると仲良くなる」「きれいになると気分がスッキリする」など、協力して働くことのよさに気づけるようにする。 ○感想を聞き、これから話し合う内容を伝える。 ○机を運ぶ時、ぞうきんでふく時など、具体的な場面を示し、力を合わせるためにどんなことに気をつければいいか。 ○全体の考えを分類整理してめあてづくりにつなげられるようにする。 ☆よりよい掃除の仕方について理解している (集団活動や生活についての知識・理解)	・インタビューの映像 (資料2) ・意見を分類・整理するための短冊
終 末	4. 力を合わせてそうじをするためのめあてを立て、カードに書く。	○話合いで出た考えを生かし、自分で掃除の時のめあてを決められるようにする。 ○具体的に書くことができるように声かけをする。 ☆自分が実践できそうな目標を立て、実践しようとしている。 (集団の一員としての思考・判断・実践)	・めあてカード (資料3)

(3) 事後の活動

活動の場	活動内容	評価 (☆) と支援 (○)	資料
6月18日以降	<ul style="list-style-type: none"> 自分の目標を達成できるように掃除に取り組む。 めあてカードにふりかえりを書く。 	<p>○児童のがんばりを認め、折に触れ紹介する。</p> <p>☆めあてが達成できるように掃除に取り組もうとしている。</p> <p>(集団の一員としての思考・判断・実践)</p>	<ul style="list-style-type: none"> めあてカード (資料3)

6. 資料

(1) 児童の意識を高めるための資料 (資料1)

学級かつどうアンケート 名前

① そうじはたのしいですか

たのしい たのしくない

② どうしてたのしいですか。どうしてたのしくないですか。りゆうを書きましょう。

(2) ねらいを焦点化するための資料 (資料2)

6年生のインタビュー映像

(3) 実践への意欲づけのための資料 (資料3)


教室をきれいにカード 名前

めあて

できたら◎ ○ △をかこう

6月18日(木)	6月19日(金)	6月22日(月)	6月23日(火)	6月25日(木)

1週間やったかんそうを書こう



板書計画

力をあわせてきょうしつを きれいにしよう	つくえをはこぶとき ・「いっしょにやろう」と 声をかける	めあてをきめよう ★つくえをはこぶときは 「いっしょにやろう」と てつだう。
アンケートのけっか たのしい：22人 たのしくない：2人	バケツをはこぶとき ・二人ではこぶ ・こぼれてるところををふく	★そうきんでふくときは ほうきのうしろにきち とならべるように声を かける
1組のみんなはそうじをたのしくしている	そうきんでふくとき ・ほうきのれつのうしろに ならぶ	
たのしさって (6年生にインタビュー) ・きれいになるとすっきりする ・きょうりよくしてなかよくなる ・「学校のために」	ほうきではくとき ・すみをはけたか声をかける	
もっと力をあわせてできないか話し合おう		